

会 議 録

会議の名称	平成26年度 第5回豊中市市有施設有効活用委員会		
開催日時	平成27年(2015年)3月24日(火) 18時30分～20時30分		
開催場所	くらしかん 体験学習室	公開の可否	☒ 可・不可・一部不可
事務局	資産活用部 施設活用推進室	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	○市有施設有効活用委員会委員5名 伊丹康二委員、佐野こずえ委員、新藤晴臣委員、廣瀬史朗委員、吉野忠男委員 (五十音順)	
	事務局	○資産活用部 施設活用推進室 福田部長、甫立次長、國司主幹、牛尾副主幹、芦田、次郎坊 ○財務部 財政室 田上室長	
	その他		
議題	1. 「豊中市における市有施設の戦略的配置について(答申案)」の検討 2. その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

審議等の概要（主な発言要旨）

案 件 1

豊中市における市有施設の戦略的配置について(答申案)」の検討

- ・資料 「豊中市の置配ける市有施設の戦略的配置について」 答申案
- ・当日資料 第4回委員会 骨子案への委員意見の概要及び答申案への反映内容の概要

事務局より資料説明

(委員) キャプションが上に付けているものと下に付けているものがあるが、統一した方が良いのではないか。

(事務局) 他の委員にも確認したところ、図は下に、表は上に付けるのが一般的であると聞いている。

(委員) 年号も和暦と西暦を併記するかどうか統一した方が良いのではないか。

(事務局) 併記する形で統一したい。

(委員) 「市」と「当市」という表現も併用されているが、統一した方がいいのではないか。

(事務局) 「市」は市側（行政側）という意味で、当市は豊中市において、という意味で、使い分けているつもりである。うまく使い分けができていない部分もあるので修正する。

(委員) P21「まとめ」で「そこに示されたこと以外にも様々な創意工夫をこらして」や、「市民にできる限り判りやすい説明」とあるが、抽象的な表現になっている。答申では機能を再編する際のプロセスの例を示しているので、「検討プロセスを説明するなど」といったように、検討プロセスを明らかにすることが、市民の理解を得ることにつながるということを書いた方が良いのではないか。

また、P19④の最後の行「跡施設の活用は、設備をそのまま活用できる「介護予防」などの機能に転用することが、地域包括ケアシステム構築にも資することになり望ましいと言える。」と言い切っているが、「望ましいという検討ができる」という表現の方が良いのではないか。ここはあくまでも検討例であるので、言い切らない方が良いのではないか。

(事務局) 表現を変更したい。

(委員) P5①において「施設の有効活用を検討した結果、増床する必要があるという方向が安易に出てくる可能性がある。」とあるが、施設の有効活用を正しく検討した結果、間違った結論が出るという記述は、論理的に矛盾があるのではないか。また、「安易に」という表現は主観的であり、なにが安易なのかかわからない。例えば、「単に必要なため増床するといった、効率性・実現性を度外視した方向性が出てくる可能性がある」といった表現の方が良いのではないか。

また、本文中に計算式が出てくる部分は、脚注にまとめた方がよいのではないか。

あと、段落が変わるところは1マスあけた方がよいので統一してほしい。

(委員) 「・」は掛け算の意味としても使われるため、どの部分からどの部分までが1つの塊かもわかりづらい。

- (委員長) 脚注に入れた方が良いか、文中に残す方が良いか、どちらか判断したい。
- (委員) 文中に残すなら文章の形に、数式にするなら脚注にするのが良いのではないかな。
- (委員) 文章で、改修費用と更新費用にランニングコストを加えたもの、といった表現をすれば、改修費用と更新費用が1つの大きな塊であることを表現できるのではないかな。
- (委員長) P7の施設老朽化比率についても脚注で表現してほしい。
- (委員) P4で「総合計画マスタープラン」とあるが、誤りであるので訂正してほしい。
- (委員) P8の文言で、「施設の建築計画を進めてきた」とあるが、「施設の建設を進めてきた」の方が良い。
- また、表現方法の違いではあるが、P8下方で「当該機能の政策目的を総合計画や分野別計画を活用することで導き出したうえ」とあるが、「対応させながら整理したうえ」とした方が良いのではないかな。つまり機能というものを再編するが、総合計画や分野別計画に照らし合わせながら整理して、新たな機能の追加は必要ないかどうかを検討するものである。
- (委員) 話し言葉のような表現になっている部分が散見されるので訂正してほしい。
- 1、P7③その他で「精緻なデータが用意できるまで何もしないのではなく」とあるが「精緻なデータを待つのではなく」にした方が良いのではないかな。
 - 2、P10上方で「老朽化対策を行ったとたん」とあるが「老朽化対策を行って数年以内に」などに変えた方が良いのではないかな。
- (委員) P8図1の下方「建物の廃止解体と新設をセットで行うことによって施設の最適配置を実現していくことに繋がる」とあるが、人口減少や税収の減が見込まれる自治体は、解体したあと新設できる財政力があるとは思えないので、違和感がある。
- (事務局) 財政基盤のない自治体ほど合併により財政措置されているのでセットにしている自治体もある。
- (委員) この記述だけを読むと、一般的な自治体においても行っているように思える。断定せずに「繋がることもある。」といった表現にした方がいいのではないかな。
- (委員) P13表1「福祉会館・桜塚会館、母子福祉センターの概要」の機能が、資料3施設分類ごとの主な機能の例(平常時の主な機能)と機能分類の名称や区分が異なっている。機能という視点では、「貸室」は「集会」ではないかな。
- (事務局) 「資料3」は主な機能のみを記しているもので、必ずしも一致していなくても、整合をはかることは可能と考える。しかし、貸室を集会機能に合わせるなど、表現方法が異なっているものは合わせておきたい。
- (委員) P14「③機能再編から改修計画までの流れ」の機能表現は「表1」ではなく「資料3」または「資料4」から引用しているということか。
- (事務局) 「資料3」から引用している。「表1」の機能表現は「資料4」に反映させていない。
- (委員) そうであれば、P14での説明は前頁であるP13「表1」の機能表現を利用せず、巻末の「資料3」や「資料4」の機能表現を利用しているということか。
- (委員長) P14「③機能再編から改修計画までの流れ」の項目に、「資料3」をもとにそれぞれの施設の主な機能を抽出すると」と書かれているので、説明はついていると思う。
- (委員長) 以上、本日出された意見をもとに事務局に修正等してもらい、修正の確認は委

員長に一任して頂ければありがたいが、問題ないか。
(他の委員) 異議なし。

案件2

その他

案件なし。

以上